

令和6年度 第1回 北九州市社会教育委員会議

日時 令和6年5月9日(木) 10:00~12:00

場所 北九州市立生涯学習総合センター3階 ホール

1 総務市民局 局長挨拶

2 委員紹介

3 議長挨拶

4 議題

(1) 令和6年度 生涯学習推進計画の主要事業について(取組予定) [資料1]

(2) 令和6年度 社会教育関係団体補助金について [資料2]

資料1

令和6年度
生涯学習推進計画の主要事業について
(取組予定)

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要(目的)	R4年度 決算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	令和6年度に向けて強化・見直した内容 または 令和6年度の取組み予定
(1)「学び」と「活動」の 情報提供の拡充 ①「学び」と「活動」の 一元的な情報提供	1	「まなびネットひまわり」 (管理運営)	総務市民局 生涯学習総合センター	<<目的>> ホームページ「まなびネットひまわり」を活用して、市内の生涯学習に関する学習機会や講師の情報等、様々な情報を一元的に提供し、生涯学習活動の促進を図る。	200	218 の一部	217 の一部	学んだ成果を自ら活動に踏み出せるよう、「いつでも・どこでも」、学習から活動、活動から学びへとつなげられるように情報の一元化に努める。 また「まなびネットひまわり」が多くの方に利用していただけるように、様々な機会を捉えて周知する。
	2	高齢者いきがい活動支援 事業	保健福祉局 長寿社会対策課	<<目的>> 高齢者の社会参加やいきがいづくりを促進するため、高齢者の参加しやすいボランティア・生涯学習情報等に関する情報の収集・提供等を行う。	8,834	8,834	9,700	引き続き利用の状況等を見ながら、リモートを活用するなどし、高齢者の社会貢献やいきがいづくりの推進を行う。特に、スマホ講座等、高齢者のデジタル機器への関心の高まりに対応していく。
	3	生涯学習総合センター情報 発信事業 (旧 生涯学習総合センター だより「まいなび21」 の発行)	総務市民局 生涯学習総合センター	<<目的>> 生涯学習総合センター主催事業や生涯学習関連情報を市民に向け発信する。	292	273	予算措置 なし	DX化推進のため、情報誌「まいなび21」は廃止することとする。 なお、今後、生涯学習に関する情報提供については、市ホームページやSNS「note」を使用し、今まで以上にきめ細かく行っていく。
(2)気軽に相談できる 体制づくり ①「学び」の相談 体制づくり	4	生涯学習総合センター学 習相談事業	総務市民局 生涯学習総合センター	<<目的>> 施設ボランティアの協力のもと、学習相談コーナーを定期的開設し、生涯学習に関する様々な相談にきめ細かく対応する。	予算措置 なし	予算措置 なし	予算措置 なし	施設ボランティアの協力のもと、生涯学習相談やパソコンなんでも相談等を毎週実施する。 また、施設ボランティアと当センター主事・主事補との定例会議を開催し、情報共有と双方のスキルアップを図る。
(3)多様な「学び」の機会 の提供 ①「学び」のきっかけ づくり	5	生涯学習市民講座の充実	総務市民局 生涯学習課	<<目的>> 市民の学習活動を支援し、一人一人が健康で心豊かな生活を送り、個人のいきがいづくりや生活に必要な知識、技術を習得するだけでなく、地域課題や社会的課題を解決するため、各市民センター等で幅広い分野にわたる講座を実施する。	9,336	9,784	9,781	より地域の特色を生かした講座、地域課題解決に向けた講座となるよう市民センター館長研修の充実を図り、多くの方に多様な学習機会を提供していく。 また、オンラインやウェブ動画を活用した講座を実施できるよう、オンライン環境の整備を進めるとともに、市民センター館長・職員等の研修を充実させる。

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要(目的)	R4年度 決算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	令和6年度に向けて強化・見直した内容 または 令和6年度の取組み予定
(続き) ①「学び」のきっかけづくり	6	北九州市民カレッジ事業	総務市民局 生涯学習総合センター	≪目的≫ 市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習機会を提供し、自己実現の促進および「循環型生涯学習社会」を担う人材の育成を図る。	4,013 (八幡西総合含む)	4,229 (八幡西総合含む)	4,134 (八幡西総合含む)	昨年度に引き続き、休日及び平日時間外に実施する講座を増やし、新たな受講者層の獲得を図る。 また、学びの効果が高まるよう、いろいろな講座でグループワークの導入を検討する。
	7	北九州ひとみらいプレイスの充実	総務市民局 八幡西生涯学習総合センター	≪目的≫ 各施設の特徴や専門性を生かし、子どもから高齢者まで、年齢、国籍、文化、障害の有無を問わず、若者成長の支援、あらゆる世代の学びの充実、さまざまな団体の活動支援、すべての市民の交流促進に取り組み、幅広い人づくりを支援する。	2,578	3,224	2,600	「人づくり支援事業」及び「にぎわい創出事業」の実施内容について検討を重ね、委託の見直し等を行うことにより、効率的な事業実施とコスト削減を目指す。 ひとみらいプレイス構成施設間の連携強化を図り、多様な層の参加・交流促進に繋がる事業を行っていく。
	8	年長者研修大学校 (周望学舎・穴生学舎)	保健福祉局 長寿社会対策課	≪目的≫ 高齢者に対して教養、健康、レクリエーション等の研修の場を提供することにより、高齢者の生きがいづくり、健康づくり及び社会活動の促進を図る。修了生の組織でボランティア活動を実施する。	141,143	190,299 の一部	192,209 の一部	事業を継続し、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを促進するとともに、高齢者の学習機会の提供の充実を図る。 また、修了生の地域活動への参加促進を図るためのプログラムを研修コースの中で実施する。
	9	ESD推進事業	環境局 環境学習課	≪目的≫ 持続可能な社会の実現に向けて、産学官民の多様な主体から成る「北九州ESD協議会」を中心として、持続可能な社会づくりのための人材の育成を図る。 【ESD＝持続可能な開発のための教育】	19,619	19,913	16,000	令和5年度に発足した「北九州ESD協議会」の新たな運営体制(活動委員会、未来創造委員会、合同委員会)により、会員が主体となったESDの推進をさらに促進する。 特に、未来創造委員会を中心とした持続可能な社会づくりの主役となる次世代が主体となって、ESDに関する各種事業を実施し、次世代の人材育成に努める。 また、会員による「出前講座」を通して、市民に対するESDの啓発・普及を図る。

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要(目的)	R4年度 決算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	令和6年度に向けて強化・見直した内容 または 令和6年度の取組み予定
(続き) ①「学び」のきっかけづくり ②ライフステージや多様性に応じた学習機会の提供・充実	10	デジタル活用講座	デジタル市役所推進室 DX推進課	<<目的>> 社会のデジタル化が進展する一方、2020年市民調査では約25%の市民がインターネットを利用していない状況であり、インターネット未利用理由で上位の「機器操作が難しい」等の課題に対応するため、高齢者等、スマートフォン等の操作に不慣れな方がスマートフォン等の操作にチャレンジするための第一歩となるような講座を市民センターと連携して実施する。	7,042	62,400	予算措置なし	民間企業と連携し、民間企業が実施しているデジタル活用講座に行政の要望に合ったコンテンツを組み込むことで、講座の質を維持しつつ、費用を削減する方法で、デジタル活用講座を実施する。
	11	育児サークル・フリースペース活動への支援	子ども家庭局 こども若者育成課	<<目的>> 乳幼児の親同士が交流を通じて、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援する。また、自由に参加・利用できるフリースペースの活動を支援するとともに、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援する。	5,610	5,861	5,390	市民センターなどで活動する地域の子育てに係る団体への活動支援補助金を見直した上で、コーディネーターを配置し、子育て支援団体の横の繋がりを、「親子ふれあいルーム」などとの連携を図る取組を実施。
	12	親子ふれあいルーム運営事業	子ども家庭局 こども若者育成課	<<目的>> 子育て中の親と子が気軽に集い、相互に交流を図る場である親子ふれあいルームを運営し、施設の充実や利用日の拡大、相談対応の充実などの機能強化を図る。 また、市民センターをはじめ、子育て支援団体、育児サークル等と連携し、ネットワーク化を図るなど、地域における子育て支援に取組む。	36,910	38,607	38,627	親子ふれあいルームの質の向上や利用促進を図るため、運営スタッフへの研修の実施等、更なる取組を検討していく。
	13	青少年体験活動の啓発・広報の推進	子ども家庭局 こども若者育成課	<<目的>> 市や市民団体・NPO団体等が実施している青少年体験活動についての情報発信を行う。	8,252 の一部	12,000 の一部	12,400 の一部	掲載団体増に伴い、ページ拡大予定

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要(目的)	R4年度 決算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	令和6年度に向けて強化・見直した内容 または 令和6年度の取組み予定
(続き) ②ライフステージや 多様性に応じた学 習 機会の提供・ 充実	14	北九州市立大学 i-Designコミュニカ レレッジ	政策局 総務課	≪目的≫ 当カレッジのためにデザインされた必修科 目と、大学の多彩な科目の中から学生と一緒 に学べる科目等を選択できるプログラムを提 供し、社会人の学び直しを支援する。	予算措置 なし	予算措置 なし	予算措置 なし	引き続き、「学問と人生」、「地域創生」、「こ ころの科学」、「多様な世界との対話」、「社会人の ためのデータサイエンス基礎」の5つの領域を 開講する。 なお、「こころの科学」領域においては、従来 の夜間開講に加え、新たに昼間にも開講し、昼 夜開講とする。次年度へ向けて、広報活動を幅 広く行い、より多くの履修生受入れを目指す。
	15	日本語教育体制整備事業	政策局 国際政策課	≪目的≫ 日本語でのコミュニケーションが困難な外 国人市民のために、日本語教室を運営すると ともに、市内で日本語学習支援を行っている ボランティアグループ(15団体)との連携や、 助成金の交付、広報協力、スキルアップ研修 などを実施することで、日本人と外国人の相 互理解および学習機会の充実を図る。	(公財)北九 州国際交流 協会補助金 36,403 の一部等	(公財)北九 州国際交流 協会補助金 35,647 の一部等	(公財)北九 州国際交流 協会補助金 35,647 の一部等	北九州国際交流協会が直接運営する日本語 教室におけるプログラム強化を図るとともに、 外国人受入団体(企業・夜間中学校など)に対す る日本語学習支援として、コーディネーターの 派遣などのモデル事業を検討する。
	16	社会参加講座開催事業 (障害者福祉会館の指定 管理事業の一部)	保健福祉局 障害福祉企画課	≪目的≫ 障害のある人の日常生活に役立つ知識の習 得や、社会参加の促進を図る。	障害者福祉 会館運営費 174,989 の一部	障害者福祉 会館運営費 174,184 の一部	障害者福祉 会館運営費 175,559 の一部	引き続き、障害のある人の自立の援助や生き がいを高める講座を開催していく。 講座についてのアンケート等を元に内容を精 査し、ニーズに基づいた講座を充実させること により、参加者数の増加を図る。
	17	障害者スポーツ教室等開 催事業	保健福祉局 障害福祉企画課	≪目的≫ 障害のある人がスポーツを通じて体力の維 持・増強、機能回復を図る。	2,360	障害者 スポーツ 振興事業 54,490 の一部	障害者 スポーツ 振興事業 51,760 の一部	障害者スポーツセンターや障害者スポーツ協 会を中心に、地域での活動を支援していくと ともに、パラリンピックで注目された種目を取り 入れるなど、障害者スポーツを通じた共生社会 のまちづくりを進める。
	18	北九州市障害者芸術祭	保健福祉局 障害福祉企画課	≪目的≫ 障害のある人の芸術・文化活動への参加を 通じて、本人の生きがいや自信を創出し、社 会参加を推進するため、北九州市障害者芸術 祭(ステージイベント、作品展)を開催する。	2,360	障害者芸術 文化活動等 推進事業 8,155 の一部	障害者芸術 文化活動等 推進事業 8,100 の一部	芸術文化応援センター(東部障害者福祉会館 内)等の関係機関との連携を強め、事業の周知 等を充実するとともに、関連するイベント(ふれ あいフェスタ)との一体的な開催を継続し、魅力 的なイベント内容とすることにより、参加者数・ 来場者数の更なる拡大を図る。

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要(目的)	R4年度 決算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	令和6年度に向けて強化・見直した内容 または 令和6年度の取組み予定
③現代的・社会的な課題の解決に向けた学習機会の提供・充実	19	人権市民講座	教育委員会 企画調整課	≪目的≫ 人権問題に関する市民の正しい理解と認識を深めるため、市民センターにおいて人権学習を推進する。	7,553 の一部	10,888 の一部	7,646 の一部	市民が親しみやすい人権市民講座等を開催できるように、題材や学習内容・方法など工夫を行う。 また、講座にとらわれず、ミニ講話など、日常的に人権啓発に触れる機会を提供する。
	20	企業や地域等でのワーク・ライフ・バランスの取り組み支援	総務市民局 女性の輝く社会推進室	≪目的≫ 企業等の事業者に対して、仕事と子育て等との両立への理解促進や働きやすい職場環境づくりを働きかける。 また、毎年11月をワーク・ライフ・バランス推進月間とし、その意義や必要性を企業等事業者や市民に周知する。	3,959	6,911	4,359	仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が上昇するように、女性活躍・ワークライフバランス表彰の実施や企業へのアドバイザー等の派遣、各種セミナーの開催等、企業への支援を継続して実施するとともに、事業の効果的なPRを図る。
	21	読み聞かせ・読書ボランティア養成講座	教育委員会 子ども図書館	≪目的≫ 読書を通して、子どもの豊かな感性を育むため、読み聞かせなどが行えるボランティアの育成を図る。	251	318	311	読書をする子どもを増やすには、大人の協力は欠かせない。子どもが読書活動に親しみ、読書の大切さを知ることができるよう、力強く支える大人を増やし、市立図書館や学校など市内で活動している読み聞かせボランティアなど読書に係るボランティアの育成、連携支援に取り組む。
	22	・DIG(住民参加型災害図上訓練) ・HUG(避難所運営ゲーム)	危機管理室 危機管理課	≪目的≫ ・DIG(ディグ)は、自分たちの住むまちの地図に過去の災害場所や浸水場所を書き込みながら議論することで、自分のまちに起こりうる災害をより具体的にイメージする訓練。 ・HUG(ハグ)は、避難所のレイアウトと避難者カードなどを活用し、参加者が運営者となり、避難所で起こる様々な出来事をクリアするゲーム感覚の訓練。	497	914	480	参加者への防災グッズの配布を見直し、令和6年度より廃止とした。 引き続き、市のホームページやSNSでの広報等を通じ、広く市民へ参加を呼び掛け、事業展開していく。 また、中学生を対象としたJ-DIGの実施についても参加校を増やせるように、教育委員会と連携し、効果的に取り組んでいく。

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要(目的)	R4年度 決算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	令和6年度に向けて強化・見直した内容 または 令和6年度の取組み予定
④生涯学習実施機関のネットワークによる学習機会の充実	23	学びから活動への仕組みづくり	総務市民局 生涯学習総合センター	<p>《目的》 行政や大学など様々な学習の場で、学んだ人にアンケートを行い、「学んだ成果を活動に活かしたい」と答えた人を、市民センターや市民活動推進課、ボランティア・市民活動センターを通じて、活動を行っている団体(自治会・まちづくり協議会、NPO、ボランティア等)へとつなぐ事業を実施する。</p>	予算措置 なし	予算措置 なし	予算措置 なし	昨年度に引き続き、アンケート実施機関を拡大することにより、幅広いボランティア希望者の掘り起こしを検討する。 また、事業開始から5年目となることから、より実効性の高いスキームの検討を開始する。
	24	北九州ひとみらいプレイスの充実(再掲)	総務市民局 八幡西生涯学習総合センター	<p>《目的》 各施設の特徴や専門性を生かし、子供から高齢者まで、年齢、国籍、文化、障害の有無を問わず、若者成長の支援、あらゆる世代の学びの充実、さまざまな団体の活動支援、すべての市民の交流促進に取り組み、幅広い人づくりを支援する。</p>	2,578	3,224	2,600	「人づくり支援事業」及び「にぎわい創出事業」の実施内容について検討を重ね、委託の見直し等を行うことにより、効率的な事業実施とコスト削減を目指す。 ひとみらいプレイス構成施設間の連携強化を図り、多様な層の参加・交流促進に繋がる事業を行っていく。
(4)学びと活動の場づくり ①学んだ成果を生かす仕組み	25	「まなびネットひまわり」(講師登録及び依頼)	総務市民局 生涯学習総合センター	<p>《目的》 「まなびネットひまわり」の機能である講師登録及び、講師を依頼したい人と登録講師とのマッチングをすることで「学び」と「活動」の循環を目指す。</p>	0	218 の一部	217 の一部	講師情報の活用並びに講師登録数を増やすため、様々な機会を捉えて周知する。
	26	市民センタークラブ	総務市民局 生涯学習課	<p>《目的》 生涯学習市民講座終了後、さらに継続的な学習を希望する人々で作られたクラブや自主的なサークル活動からスタートしたクラブ活動を支援、促進する。</p>	予算措置 なし	予算措置 なし	予算措置 なし	クラブ員の高齢化等により、クラブ数が減少している中、人数要件の変更、会員の金銭負担上限額の変更等の要項の見直しを行った。 令和6年度は要項改正による影響や効果などを検証していく。
②生涯学習関連施設の整備	27	美術館企画展充実事業	都市ブランド創造局 美術館	<p>《目的》 美術館において、多彩で魅力ある展覧会を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。</p>	111,927	118,088	110,025	教育普及事業と連携し、来館者の年齢層や個人から家族への来館単位の変化に合わせた企画展を研究し、より効果的な広報PRを行うなど、来館者数の増加につなげたい。
	28	博物館企画展・特別展充実事業	都市ブランド創造局 自然史・歴史博物館	<p>《目的》 入館者の増加につながる、魅力ある大型特別展を開催し、さらなる賑わいの創出を図る。</p>	59,074	55,570	55,500	引き続き魅力ある特別展を企画していく。 また、リニューアルした博物館をPRし、新規の来館者やリピーターの増加につなげる。

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要(目的)	R4年度 決算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	令和6年度に向けて強化・見直した内容 または 令和6年度の取組み予定
(続き) ②生涯学習関連施設 の整備	29	平和のまちミュージアムの運営	総務市民局 平和のまち ミュージアム事務局	≪目的≫ 戦争被害、戦時下の人々の暮らし等に関する資料の収集、保存、展示等を行うことにより、戦争の悲惨さを伝え、もって市民が平和の大切さや命の尊さを考えるきっかけとする。	37,616	39,185	22,953	ミュージアムの運営を通じて、平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけづくりを進めるとともに、幅広い世代の来館を図るため、企画展・イベントを始めとする様々な取組を実施する。 また、戦争体験や戦時資料の保存・継承にも努める。
	30	北九州市科学館スペースLABO運営経費	都市ブランド創造局 科学館	≪目的≫ 北九州市科学館スペースLABOを魅力ある施設として運営することにより、将来を担う技術系人材の育成を図るとともに、修学旅行者や観光客を呼び込むことで、東田地区全体の賑わいに寄与するもの。	483,056	510,123	503,632	スペースLABOの運営を通じて、将来を担う技術系人材の育成を進めるとともに、幅広い世代の来館を図るため、近隣施設と連携した取組を実施し、東田地区全体の活性化にも努める。
	31	折尾まちづくり記念館の運営	総務市民局 地域振興課	≪目的≫ 折尾のまちづくりの歴史に関する情報の収集及び提供を行うとともに、住民等の交流及び自主的活動の場を提供することにより、折尾のまちづくりを推進する。	13,997	17,510	17,510	【指定管理】 施設の設置目的への理解度を深めるとともに、体系的で計画的な事業の展開を行う。 また、折尾のまちづくりに資する施設として、まちづくりの視点で、地域との連携の強化を図る。

施策の柱2 「学び」と「活動」による人づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要(目的)	R4年度 決算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	令和6年度に向けて強化・見直した内容 または 令和6年度の取組み予定
(1)「学び」と「活動」を通じた人材の発掘・育成 ①地域ボランティアの発掘・育成	32	地域福祉ボランティア研修事業 (旧 社会福祉ボランティア大学校運営事業)	保健福祉局 地域福祉推進課	<<目的>> 地域ニーズに対応した研修内容の充実、研修機会の拡大に努め、地域福祉やボランティア活動を担う人材の養成を行う。	31,380	30,936	25,300	テーマ型ボランティア講座を重点的に行うなど、実際のボランティア活動に直結する講座を展開していく。
	33	ボランティア活動促進事業	保健福祉局 地域福祉推進課	<<目的>> 地域福祉の振興を図るため、北九州市社会福祉協議会が実施しているボランティアの育成、コーディネート、活動支援、関係機関との連携による情報収集・発信等のボランティア活動促進事業に対して補助を行う。	33,988	30,858	25,300	関係機関・団体との協働による情報提供やコーディネート等、より効率的な活動支援を図る。
	34	NPO・市民活動促進事業	総務市民局 市民活動推進課	<<目的>> 市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動サポートセンターを拠点として、NPO・市民活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、講座の開催、NPO法人設立・運営支援などを行う。	16,524	17,434	17,397	市民活動サポートセンターを拠点として、引き続き、NPO・市民活動、協働等に関する相談対応や情報提供を行うとともに、センターの効率的な運営を図る。
	35	みんな de Bousai まちづくり人材育成事業	危機管理室 危機管理課	<<目的>> 大学と協働し、防災科目を講義するなど、市内の大学生を対象に、防災教育を実施した。学生自身が災害時に主体的に判断し、行動できる知識を身につけ、地域コミュニティにおいて新たな担い手として活動できる人材を育成する。	5,191 の一部	10,724 の一部	7,800 の一部	引き続き、対面での授業に加え、オンラインでのライブ配信やアーカイブ配信を行い、学生に多様な学習の機会を提供することで、地域防災を担う人材の育成を行う。
	36	子育てネットワークの充実	総務市民局 生涯学習課	<<目的>> 子育て中の親子を温かく迎え入れ、身近な相談相手になるとともに、親子同士をつなぎ、親子の成長を地域で見守る環境づくりのため、「子育てサポーター」を育成する。	1,114	598	270	子育てサポーター登録者数の増加及びフォローアップ研修の内容の充実を図る。子育てサポーター養成後、実際の活動につながるよう、子育てサポーターが活躍できる講座の開講や活動の場の提供など、活動の充実を図る。

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要(目的)	R4年度 決算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	令和6年度に向けて強化・見直した内容 または 令和6年度の取組み予定
(続き) ①地域ボランティアの 発掘・育成 ②地域リーダーの 発掘・育成	37	年長者研修大学校 (周望学舎・穴生学舎) (再掲)	保健福祉局 長寿社会対策課	<<目的>> 高齢者に対して教養、健康、レクリエーション等の研修の場を提供することにより、高齢者の生きがいがづくり、健康づくり及び社会活動の促進を図る。修了生の組織でボランティア活動を実施する。	141,143	190,299 の一部	192,209 の一部	事業を継続し、高齢者の生きがいがづくり、健康づくりを促進するとともに、高齢者の学習機会の提供の充実を図る。 また、修了生の地域活動への参加促進を図るためのプログラムを研修コースの中で実施する。
	38	住民主体の地域づくりの 促進	総務市民局 地域振興課	<<目的>> 地域コミュニティの重要性の理解促進を図ることを目的とした各種事業を通じて、住民主体の地域づくりを促進する。	1,199	1,560	2,006	地域が一体となった住民主体の地域づくり・まちづくり協議会や、地域で様々な取組を行う各種地域団体等に対し、各種支援事業などの地域ニーズに応じた施策を展開する。
	39	地域力アップセミナー	総務市民局 生涯学習総合センター	<<目的>> 地域への帰属感や連帯感を共有でき、学んだ成果を地域で活かすことができる人材の育成を目的としており、受講生が自ら学習し、主体的に関わることで地域づくりを実践的に学ぶ講座となっている。	4,013 の一部	4,229 の一部	4,134 の一部	成果報告を企画提案型とした昨年度の見直し が概ね好評であったことから、引き続きこの方式で実施する。 今年度は、企画提案がより実践的なものになるよう、主事・講師によるきめ細かな指導を行う。
	40	健康づくり推進員養成・ 活動支援事業	保健福祉局 認知症支援・ 介護予防課	<<目的>> 市民主体の健康づくりを推進するため、地域における健康づくり活動のリーダーの育成を行う。	3,915	3,963	3,918	地域での健康づくり・介護予防活動を安全に 継続できるよう支援を行う。今年度は、高血圧 予防・フレイル予防に関する活動をより発展さ せる。
	41	生涯学習指導者育成セミ ナー	総務市民局 生涯学習課	<<目的>> 地域課題に対する地域福祉活動、まちづくり推進活動、子育て活動などに総合的に取り組める、生涯学習を推進するための人材育成を目指す。	750	750	750	講義内容のより一層の充実と情報周知の強 化を行い、受講希望者の増加を図る。

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要(目的)	R4年度 決算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	令和6年度に向けて強化・見直した内容 または 令和6年度の取組み予定
(続き) ②地域リーダーの 発掘・育成	42	地域における女性リーダー育成セミナー	総務市民局 生涯学習総合センター	≪目的≫ 市内で活動している女性や学習グループのリーダー、今後リーダーとして活動しようとする意欲のある人を先進他都市等に派遣し、生涯学習活動に必要な専門的知識や技術についての学習を深め、地域活動の中心となる人材の育成及びスキルアップを図る。	0	138	166	昨年度、応募条件を緩和、事業名・講義内容をリニューアルし、11名の受講につながった。 今年度は、修了後の活動につながるよう、事業企画の基礎を学ぶなど、内容の充実を務める。
(2)「学び」と「活動」をつなぐ人材の発掘・育成	43	社会教育・生涯学習関係職員研修の充実	総務市民局 生涯学習課	≪目的≫ 社会教育施設や市民センター、地域における学習・交流の機会の提供は、現代的・社会的課題の解決に向けてますます重要になってくる。 今後もこれらの施設で、多様かつ有効な生涯学習事業等を推進することができるよう、関係する職員等の研修の充実を図る。	263	640	639	研修の中で、社会教育・生涯学習事業に関する事例発表や市民センターの館長同士、職員同士の情報交換を行う機会を設ける。
①「学び」と「活動」をコーディネートする人材の発掘・育成		生涯学習推進コーディネーター配置事業	総務市民局 生涯学習課	≪目的≫ 全市の生涯学習推進コーディネーターが一堂に会し、意見交換や情報交換を行い、交流を深めることで、より地域の学びと活動を活性化する専門人材となるよう研修会を実施する。	2,848	6,052	2,561	生涯学習推進コーディネーター配置の意義、効果に加え、人材の見つけ方などを市民センター館長に社会教育主事等が助言しながら、配置割合の増加に向け取り組む。 また、生涯学習推進コーディネーターを地域の人材として育成するための研修を実施し、研修で学んだ内容を実践につなげられるように支援を行う。
		地域学校協働活動推進員(地域学校協働活動事業)	教育委員会 次世代教育推進課	≪目的≫ 地域等と学校とのパイプ役として、学校の要望に応じて、スクールヘルパー等の人材を発掘し、「地域学校協働活動」を推進する。	24,036 の一部	45,554 の一部	27,178 の一部	地域学校協働活動推進員への研修を行い、地域と学校のパイプ役として地域学校協働活動を推進できるようにする。

施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要(目的)	R4年度 決算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	令和6年度に向けて強化・見直した内容 または 令和6年度の取組み予定
(1)「学び」と「活動」による仲間づくり ①「学び」と「活動」をきっかけにした仲間づくり	46	家庭教育支援の充実	総務市民局 生涯学習課	<<目的>> 家庭の教育力の向上をめざし、保護者が家庭で子どもの教育をする心構えや、子どもとの接し方、教育上の留意点などを相互学習の中で主体的に学習する場として開設する。	1,679	3,362	1,542	これまで実施してきた「家庭教育学級」について、保護者の負担を軽減等を目的に、令和6年度から「家庭教育講座」に見直しを行い、学習会や交流会を実施することとした。加えて、学校単位の実施を市民センター単位での実施への見直した。 また、市民センターでの家庭教育講座等に参加できない保護者へ向けた取り組みとして、引き続き、家庭教育力の向上や子育て支援につながる動画等をインターネットで配信し、情報提供を行う。
	47	地域・子ども交流事業	総務市民局 生涯学習課	<<目的>> 地域の特色を活かし、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高めることを目的に家庭・地域・学校等が連携して、世代間交流や様々な体験活動の機会を提供する。	1,800	9,784 の一部	9,781 の一部	引き続き、家庭・地域・学校等が連携した、世代間交流や様々な体験活動の機会等を提供していく。
(2)つながりから生まれる地域への愛着・誇り ①シビックプライドの醸成(地域文化、生涯スポーツ)	48	伝統文化の発掘・継承	都市ブランド創造局 文化企画課	<<目的>> 指定無形民俗文化財保存団体の継承・保存活動を育成・支援する。	910	1,127 の一部	1,000 の一部	市内の指定文化財について、その保存・継承と普及・啓発を支援するため、相談体制の維持と活動に関する補助金を交付している。 引き続き、優先順位をつけながら文化財の保存・活用に努める。
	49	文化財の保存・継承	都市ブランド創造局 文化企画課	<<目的>> 文化財の指定等にかかる諮問機関の運営等、文化財の保護、適切な管理のための取組みを推進する。	4,011	3,966	3,640	文化財の指定、保存管理、購入及び埋蔵文化財の発掘調査を実施し、市内の文化財を保護・活用していく。
	50	博物館セカンドスクール事業	都市ブランド創造局 自然史・歴史博物館	<<目的>> いのちのたび博物館を「第2の学校(教室)」と位置づけ、博物館への誘致事業・学校教育支援事業・家庭教育支援事業の3つの柱をかけ、学校教育現場と博物館の結びつきの強化を図る。	1,186	1,143	2,300	コロナ禍が完全にあけ、コロナ禍以前の団体数やインバウンド団体の来館となる中、滞りなく団体の受入を行う。 ICTを利用し、教育現場での博物館の活用を推進する。 教員向け支援(「博物館利用の手引き」の改定や、教員研修など)の充実を図る。

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要(目的)	R4年度 決算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	令和6年度に向けて強化・見直した内容 または 令和6年度の取組み予定
(続き) ①シビックプライドの 醸成(地域文化、 生涯スポーツ)	51	生涯スポーツ振興事業	都市ブランド創造局 スポーツ振興課	「目的」 各区における地域スポーツの普及振興を図るため、ニュースポーツ用具の整備及び各種交流大会を実施する。	14,962	15,845	18,000 の一部	引き続き、各競技団体への補助金を通して、スポーツ教室やニュースポーツ体験会、指導者養成講座などを継続して実施することにより生涯スポーツの振興を図る。
	52	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	都市ブランド創造局 スポーツ振興課	「目的」 子どもたちをはじめ地域の住民が誰でも、どこでも、いつでもスポーツを楽しむことができるよう、総合型スポーツクラブへの育成・支援を行う。	2,600	2,496	2,400	令和5年度同様、総合型地域スポーツクラブへの補助金を通して、市内9スポーツクラブの活動を継続的に支援する。
	53	北九州マラソン開催事業	都市ブランド創造局 スポーツ振興課	「目的」 スポーツの振興やまちのにぎわいづくりを図るため、1万人規模のマラソン大会を開催する。また、全国から参加するランナー等への食のおもてなしやコース沿いに位置する観光資源を通して、本市の魅力をPRし、シビックプライドの醸成を図る。	88,303	88,040	74,040	初心者でも参加しやすい種目の検討を行い、市民参加型のイベントを開催する。また北九州マラソン独自の食のおもてなしや、コース沿いに位置する観光資源を通して、北九州市の魅力をPRし、シビックプライドの醸成を図る。
	54	ホームタウン推進事業	都市ブランド創造局 スポーツ振興課	「目的」 本市をホームタウン・準ホームタウン等とする、トップスポーツチーム等の市民観戦事業や体験教室の開催など、市民がスポーツに親しむきっかけ作りを実施。	63,729	68,000 の一部	58,000 の一部	市民の応援機運を促進する新しい事業に組み替える等の見直しを行った。 引き続き、トップスポーツチーム同士の連携を強化し、市民に愛されるチームになるような取組を行うと共に、市民がスポーツに親しむきっかけ作りを実施する。
(3)学校と家庭・地域が つながる教育力の 向上 ①家庭教育支援の 充実	55	親力アップ情報発信	総務市民局 生涯学習課	「目的」 核家族化や共働き世帯など、子どもや家庭を取り巻く環境の変化に合わせて、いつでもどこでも家庭教育の役立つ情報が得られるよう、子育て支援につながる情報提供を行う。	545	1,190	1,188	これまで制作したコンテンツを活用し、より多くの保護者へ情報が届くよう、PR等に力をいれる。

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要(目的)	R4年度 決算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	令和6年度に向けて強化・見直した内容 または 令和6年度の取組み予定
(続き) ①家庭教育支援の 充実 ②家庭・地域・学校 の連携促進 ③地域における子ど もたちの発達・育成 を促す環境づくりと 体験活動の推進	56	家庭教育支援の充実 (再掲)	総務市民局 生涯学習課	<<目的>> 家庭の教育力の向上をめざし、保護者が家 庭で子どもの教育をする心構えや、子ども との接し方、教育上の留意点などを相互学習 の中で主体的に学習する場として開設する。	1,679	3,362	1,542	これまで実施してきた「家庭教育学級」につい て、保護者の負担を軽減等を目的に、令和6年 度から「家庭教育講座」に見直しを行い、学習会 や交流会を実施することとした。加えて、学校 単位の実施を市民センター単位での実施への 見直した。 また、市民センターでの家庭教育講座等に参 加できない保護者へ向けた取り組みとして、引 き続き、家庭教育力の向上や子育て支援につ ながる動画等をインターネットで配信し、情報 提供を行う。
	57	コミュニティ・スクール事 業	教育委員会 次世代教育推進課	<<目的>> 学校運営及び学校運営に必要な支援に関し て協議する「学校運営協議会」を設置、地域住 民が学校運営への参画を促進し、学校と地域 との連携を促進し、「地域とともにある学校づ くり」を進める。	24,036	45,554	27,178	国型コミュニティ・スクール実践校の事例発表 を基に、各学校において、コミュニティ・スク ールの円滑な運営を進めていく。 令和6年度以降、実施校を順次拡大し、令和8 年度にはすべての学校で国型コミュニティ・ス クールを実施する。
	58	地域学校協働活動事業	教育委員会 次世代教育推進課	<<目的>> 多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画 し、また、活動を通じて地域社会全体の教育 力の向上を図り、地域全体で子どもたちの成 長を支え、地域を創生する活動を推進する。	24,036 の一部	45,554 の一部	27,178 の一部	地域学校協働活動推進員への研修を行い、地 域と学校のパイプ役として地域学校協働活動 を推進できるようにする。
	59	地域・子ども交流事業 (再掲)	総務市民局 生涯学習課	<<目的>> 地域の特色を活かし、地域ぐるみで子ども を見守り育てる意識を高めることを目的に家 庭・地域・学校等が連携して、世代間交流や 様々な体験活動の機会を提供する。	1,800	9,784 の一部	9,781 の一部	引き続き、家庭・地域・学校等が連携した、世 代間交流や様々な体験活動の機会等を提供し ていく。
	60	青少年ボランティアス テーション推進事業	子ども家庭局 こども若者育成課	<<目的>> 青少年の成長に欠かすことのできない様々 な体験活動等を通じ、青少年が社会の構成員 として規範意識や社会性、協調性等を身に付 けることができるよう、青少年ボランティアス テーションを拠点に、青少年の体験活動を支 援、促進する。	1,357	1,462	1,400	①令和5年度同様、ホームページを活用したボ ランティア情報のさらなる充実を図る。 ②コロナの5類化に伴い増加してきたイベント 関連ボランティアを通して多くの青少年に活動 の場を提供する。 ③ボランティア実施後に送られてくる青少年の 意識をより多面的に分析して、今後のボラン ティア企画に繋げていく。 ④各イベント主催者との連携を深めて、その活 動の価値・意義を理解することが出来るような 働きかけをすることにより、青少年の意識向上 を図る。

資料2

令和6年度
社会教育関係団体補助金について

令和6年度社会教育関係団体補助金一覧表

(単位:千円)

1 北九州市婦人会連絡協議会			
団体名	R6年度	R5年度	比較(R6-R5)
	予算額 (千円)	400	800
団体の活動目的	北九州市各区地域婦人会の発展や安全・安心な地域社会づくりに資するための連絡機関であるとともに、その連携協力により共通の目的達成のために連絡協議する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙発行事業【300千円】 団体の活動状況を幅広く会員にアピールし、連帯の環を広げるとともに意識の向上を図る。 ・地域婦人会指導者研修事業【100千円】 各種研修会の参加及び研修大会の実施により、各種意見交換や情報交換を行うなど、会員自らが学習し、能力の向上を図る。 		
補助金を活用した 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙の発行 令和4年度 発行回数:年2回 発行部数:7,000部/1回 令和5年度 発行回数:年2回 発行部数:7,000部/1回 ・地域婦人会指導者研修事業の実施 ・全国指定都市研究集会の実施 		

(単位:千円)

2 北九州市PTA協議会			
団体名	R6年度	R5年度	比較(R6-R5)
	予算額 (千円)	1,120	1,400
団体の活動目的	子どもたちの心身の健全な発達を願い、家庭教育学級や学年・学級活動などに主体的に参画することを通して、自らが進んで実践する生涯学習活動に取り組む。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙発行事業【880千円】 広報紙「PTA新聞」を通して、市内のPTAの活動状況を幅広く会員に紹介し、会員の連帯の輪を広げ、意識の向上を図る。 ・各種研修大会参加事業【240千円】 PTA全国大会・九州大会への参加に対する補助を行い、PTA活動への見識を広げ、市内での活動に還元する。 		
補助金を活用した 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「PTA新聞」の発行 令和4年度 発行回数:年3回 発行部数:80,000部/1回 令和5年度 発行回数:年3回 発行部数:80,000部/1回 ・日本PTA全国研究大会参加 ・指定都市PTA情報交換会参加 		

(単位:千円)

団体名			
3 北九州市子ども会連合会			
予算額 (千円)	R6年度	R5年度	比較(R6-R5)
	2,500	2,500	0
団体の活動目的	子どもたちに生きる力と輝きを育み、体験を通して感動が生まれ、輝く夢を与える活動を行う。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・北九州市子ども会連合会事業 地域における青少年の健全育成を推進するため、青少年団体の運営や活動に対して補助金を交付し支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	・北九州市子ども会連合会所属者のスキルアップ(研修への参加) ・子ども向けイベントの実施(釣り大会など)		

(単位:千円)

団体名			
4 日本ボーイスカウト福岡県連盟			
予算額 (千円)	R6年度	R5年度	比較(R6-R5)
	1,100	1,100	0
団体の活動目的	自立心や責任感、リーダーシップなど、子どもたちが「生きていく力」を身に着けることができる貴重な体験の場である野外活動や奉仕活動などを通じて、青少年を育成する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・日本ボーイスカウト北九州地区協議会事業 地域における青少年の健全育成を推進するため、青少年団体の運営や活動に対して補助金を交付し支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	ちびっこわいわい広場や全国防災キャラバンのほか、日本ボーイスカウト福岡県連盟北九州地区協議会に所属する13団がそれぞれイベント等を実施した。		

(単位:千円)

団体名			
5 ガールスカウト福岡県北九州地区			
予算額 (千円)	R6年度	R5年度	比較(R6-R5)
	300	300	0
団体の活動目的	一人ひとりの育ちをていねいに支え、行動できる力をはぐくむ。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・ガールスカウト福岡県北九州地区事業 地域における青少年の健全育成を推進するため、青少年団体の運営 や活動に対して補助金を交付し支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	ワールドシンキングデイの実施や一般参加者と合同でのガールスカウト 技術訓練を実施したほか、ガールスカウト福岡県連盟北九州地区に所 属する4団が、それぞれイベント等を実施した。		

(単位:千円)

団体名			
6 門司海洋少年団			
予算額 (千円)	R6年度	R5年度	比較(R6-R5)
	100	100	0
団体の活動目的	海洋に親しむ機会を与え、甘えを無くし、責任感のある子を育成する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・海洋少年団事業 地域における青少年の健全育成を推進するため、青少年団体の運営 や活動に対して補助金を交付し支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	・門司港まつり・パレードへの参加 ・海洋少年団全国大会への参加 ・クリーンアップ大作戦や市民いっせい町美化の日での活動		

(単位:千円)

7 北九州地区(市)少年補導員連絡協議会			
団体名	R6年度	R5年度	比較(R6-R5)
	予算額 (千円)	1,000	1,000
団体の活動目的	各連絡会の相互連携、少年の非行防止及び保護に関する活動など少年の健全育成に寄与する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・北九州地区(市)少年補導員連絡協議会事業 地域における青少年の健全育成や非行防止活動を推進するため、青少年団体の運営や活動に対して補助金を交付し支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	・北九州地区(市)少年健全育成大会の実施 ・児童にカルタ遊びを通じて、社会ルールや決まり事を守る心を育て、少年の安全と少年非行防止を図ると共に、少年補導員同士の親睦を深めることを目的とした事業を各警察署単位で行う。		

(単位:千円)

8 校区青少年育成会			
団体名	R6年度	R5年度	比較(R6-R5)
	予算額 (千円)	300	300
団体の活動目的	地域における青少年の健全育成、非行防止のための日常的な活動を推進する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・校区青少年育成会事業 地域における青少年の健全育成や非行防止活動を推進するため、青少年団体の運営や活動に対して補助金を交付し支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	地域総括補助金を受け取っていない4校区に補助金を交付し、それぞれ校区の実情に合わせた青少年の健全育成に関連した行事等を実施		

(単位:千円)

9 その他青少年育成団体			
団体名	R6年度	R5年度	比較(R6-R5)
	予算額 (千円)	600	600
団体の活動目的	青少年の健全育成(NPO団体等)		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・遊びの広場促進事業補助金 異年齢集団での遊びや自然体験、社会体験活動など、地域での体験活動、遊びの広場の輪を広げるため、他の団体・グループ活動の参考になる取組みに対して補助金を交付し活動の支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	令和5年度は5団体に補助金を交付し、四季を通じた季節行事の体験や障がい者向けのキャンプ、自然を活かしたものづくり等を実施。		

(単位:千円)

10 (公財)北九州市スポーツ協会			
団体名	R6年度	R5年度	比較(R6-R5)
	予算額 (千円)	11,000	11,328
団体の活動目的	スポーツを振興して北九州市民の体力向上を図り、健康で明るい市民生活を確立する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・各競技団体の指導育成 ・スポーツ大会の開催及び助成 ・スポーツ指導者の養成 ・スポーツの普及、競技力の向上 ・スポーツ少年団の指導育成 など、市民向けのスポーツ教室・健康教室や指導者養成講習会、選手強化講習会等を実施する。		
補助金を活用した 活動実績	・スポーツ教室、健康教室の実施 スポーツ教室 76教室、健康教室 56教室の計132教室 ・スポーツ少年団の育成指導 登録団体 127団体 団員 2,439名 指導者数 644名 ・各競技団体による指導者養成講習会 25事業 ・各競技団体による選手強化講習会 23事業		

(単位:千円)

11 北九州市レクリエーション協会			
団体名	R6年度	R5年度	比較(R6-R5)
	予算額 (千円)	960	960
団体の活動目的	全国レクリエーション活動の先駆者として北九州市のレクリエーションを啓発・普及・拡大する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション活動の普及、大会の開催 ・レクリエーション指導者の養成 ・レクリエーションに関する調査研究 ・レクリエーション団体の指導育成 など、市民向けの教室・大会やレク・インストラクター養成講座等を開催する。		
補助金を活用した 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向けの教室や大会、講座の開催 35回 ・指導者の養成 参加者数 44名 ・子どもの健全育成にかかる教室・体験 8教室 参加者数138名 ・広報誌の発刊 年2回(4月、11月) 		

(単位:千円)

12 北九州市スポーツ推進委員協議会			
団体名	R6年度	R5年度	比較(R6-R5)
	予算額 (千円)	240	240
団体の活動目的	北九州市におけるスポーツの推進やその体制の整備を図る。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ・レクリエーション行事の企画・立案 ・ニュースポーツの普及・振興 など、ニュースポーツ普及のため、スポーツ推進委員を対象に座学と実技研修会を年1回ずつ実施する。また、活動報告として「スポーツ推進委員だより」を年2回発行する。		
補助金を活用した 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 <ul style="list-style-type: none"> 【前期】5月14日(日) 出席者49名 【後期】3月19日(日) 出席者110名 ・広報誌「スポーツ推進委員だより」発刊 年2回(9月、3月) 		

(単位:千円)

団体名	13 北九州市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会		
予算額 (千円)	R6年度	R5年度	比較(R6-R5)
	2,400	2,496	▲ 96
団体の活動目的	市民のスポーツ・レクリエーションの普及・振興を図る活動を支援する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業 市内の総合型地域スポーツクラブの相互の連絡、研修、質の向上のため組織された「北九州市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」を通じ、各クラブへの指導者の育成等の支援を行うとともに、各区クラブ間の交流事業や勉強会等を開催する。 		
補助金を活用した 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ間交流促進事業 3月2日(土) 42名参加 ・指導者養成等事業費 <ul style="list-style-type: none"> ①2月26日(月) AED研修会 ②3月30日(土) 福岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会次世代研修会 ・スポーツ啓発事業費 3月2日(土) 30名参加 		